



高水地協ニュース

連 合 長 野
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和

○ 編集責任者 宮尾 卓志

〒383-0022 中野市中央 1 丁目 9-15 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

高水地協第 9 回定期総会

11 月 21 日（土）15 時、中野市「アップルシティーなかの」において招集代議員 81 名のうち、出席代議員 22 名、欠席代議員 11 名、委任状 48 通により、高水地協第 9 回定期総会を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、総会のみとし来賓を最小限に抑え、ソーシャルディスタンスを基本に総会代議員は 1 単組 1 名、他代議員については委任状対応としました。来賓として連合長野から根橋会長、篠原衆議院議員、杉尾参議院議員の 3 名にご臨席を賜り、ご挨拶をいただきました。2020 年度経過報告では一般経過を村山事務局長、会計報告を冨澤事務局次長、会計監査報告を児玉会計監査から報告を受け、すべて満場一致で承認されました。議案審議では第 1 号議案「2021 年度活動方針に関する件」については、大碓議長代行、第 2 号議案「2021 年度会計予算に関する件」については冨澤事務局次長、第 3 号議案「表彰に関する件」については青木副議長より提案され、いずれも満場一致で可決されました。最後に宮尾副議長より総会宣言案を読み上げ、満場一致で承認されました。例年、実施している「団結頑張ろう三唱」はコロナ禍の状況を鑑み取りやめ、荻原議長の挨拶で総会を締めくくりました。

【ご来賓】

| | |
|--------|-------|
| 連合長野会長 | 根橋美津人 |
| 衆議院議員 | 篠原 孝 |
| 参議院議員 | 杉尾 秀哉 |

祝辞・メッセージは、金箱副議長よりご紹介させていただきました。

| | |
|-------------------|-------|
| 長野県労働金庫須坂支店長 | 久保田文博 |
| 長野県労働金庫中野支店長 | 山越 伸明 |
| こくみん共済 coop 長野支所長 | 宇治川 誠 |



総会議長団を務めた小林代議員(新光電機労組:左)、松村代議員(県教組上高井支部:右)



招集挨拶する荻原議長と来賓・役員

【荻原議長挨拶】



第 9 回定期総会にご参集のみなさん、大変お疲れさまです。高水地協の議長を務めます、長野電鉄労働組合の荻原公和です。日ごろ、高水地協の活動にご協力いただいていることに、改めて感謝を申し上げますとともに、職場の労働条件向上のために、日々活動されているみなさんに敬意を表します。本日の定期総会ですが、新型コロナウイルス感染症による長野県全体の警戒レベルが 2 に引き上げられ、さらにこの北信圏域ではレベル 3 となっている状況ではありますが、感染防止対策を徹底し、委任状により代議員の数を絞り、できるだけ短時間で終了していきますので、みなさんのご理解をお願いします。またご来賓につきましては、根橋会長、篠原議員、杉尾議員にご臨席をいただいておりますが、この他の方々にはメッセージをお願いし、ご臨席をいただいております。根橋会長、篠原議員、杉尾議員におかれましては、ご多忙の中ご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

昨年、長野県内に甚大な被害をもたらした台風 19 号災害から一年が経過しました。改めて、被害に遭われた方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。連合では、県内をはじめ東海ブロックからも、多くの仲間が災害復旧ボランティアとして被災地域に入りました。被災された方々が、一日も早く普通の日常に戻ることができるよう、これからも私たちができる支援を継続していきますので、引き続きみなさんのご協力をお願いします。その台風からの復旧途上である今年 1 月、国内で初めて感染が確認された新型コロナウイルスは、これまでの感染者数が 13 万人に迫る状況となっています。緊急事態宣言が解除され、経済活動を活発化させるために、Go To トラベルや Go To イートなどの政策が実施されていますが、ここへ来て一日の感染者数が 2,000 人を超える日が続き、感染がさらに拡大しています。感染拡大により、私の所属する私鉄では、収益の要である貸切バスの稼働が、4 月から 8 月にかけてほぼゼロとなり、高速バスも乗客が数人という状況が続いています。鉄道も外出自粛やテレワーク等により乗客が大幅に減少するなど、これまでに経験したことのない収入の落ち込みとなっています。このような状況の中で、私鉄総連に加盟する多くの組合が、雇用を守るため、春闘で年間協定として締結した一時金の減額を余儀なくされています。コロナ関連の解雇や雇い止めは、全国で 7 万人を超え、県内では 1,500 人に近くにのぼり、その多くが正社員以外の方々となっています。勤務先から休業を命じられ、本来なら企業から 6 割以上の休業手当が支払わなければならないのに、まったく支払われていない人の割合は、正社員の倍の 33% もいるという調査結果も出ています。

感染の収束がまったく見通せない中で、今後の生活や経済がどうなっていくのかという不安が国全体に広がっています。私たちは新しい生活様式を推進し、基本的な感染防止対策を徹底していくしかありませんが、このような困難な状況のときこそ、政治が機能しなくてはならないのに、8 月 28 日安倍前首相が、突然退任を表明しました。コロナ対応では「安倍のマスク」に象徴されるように、その場限り、行き当たりばったりの政策に終始し、それが現在の混乱を招いているといっても過言ではないと思います。

2012 年に始まり歴代最長の在職日数となった第二次安倍政権が何をやってきたのか、様々な政策を打ち出しては、成果がでないと次の政策、また次の政策と目先を変え、結局中身は何もなかったように思います。特定秘密保護法、共謀罪、カジノ解禁法を強引に成立させたほか、一時の内閣で集団的自衛権の解釈を変更し、他の国の戦争への参加を可能にする安保関連法は、憲法を軽視し続けた安倍政権を象徴する出来事でした。森・加計学園問題、桜を見る会など、行政・政治を私物化した事案は、真相が解明されていません。その安倍政権を継承し、感染が拡大しているのに、国民には自助を求めながら、公助の対策を何も打ち出せない菅内閣のままでは、私たちは未来に希望を持つことができません。

向こう一年の間に、衆議院選挙が行われます。旧立憲、国民の全議員が新立憲民主党への合流とはなりませんでした。私たちが働く者・生活者の立場に立つ政治勢力が結集し、国民の不安や不満、閉塞感を解消するために、政権を担える勢力となれるよう、次の衆議院選挙は必ず勝利



しなくてはなりません。高水地区において、その最初的意思固めの場としたいとの思いから、篠原議員、杉尾議員に定期総会のご案内をし、本日お越しいただいておりますので、ぜひ力強いごあいさつをいただきたいと思います。

連合長野は今年、結成 30 年を迎えました。先ほど申し上げたように、感染拡大により雇い止めや解雇になっている人の多くが、非正規と呼ばれる人たちです。

先日 10 月 1 日時点の大学生の就職内定率が 70% を割り込むという報道がありました。今日の新聞には大手旅行会社の年収 3 割カットと人員削減の記事が掲載されていましたが、この先も私たちにとってきびしい経済状況が続くと思われます。しかし、こんな時だからこそ、組織された私たちの運動によって、格差が是正され、平和で安心して働き・暮らし続けられるようにしていくことが重要だと、これまで以上に感じています。

20 春闘以降、感染拡大により多くの活動を中止せざるを得ない状況にありますが、本定期総会を機に、少しずつ動き始めたいと思っています。

高水地協では、これからも地域のつながりを大切にし、すべての働く人とその家族の幸せのために、子どもたちがこれからも平和で暮らしていけるように、様々な運動を展開していきますので、引き続きみなさんのご協力をお願いし、執行部を代表してのごあいさつさせていただきます。本日は、よろしくお願いします。



【根橋会長挨拶】

日頃より、荻原議長を先頭に地域運動にご奮闘いただいておりますことに心より敬意を申し上げます。一年前の台風 19 号災害では労働会館をベースキャンプとして、全国各地から働く皆さんの結集をいただきボランティア派遣をしてきております。10 月 26 日、阿部知事より表彰を受けましたが、これは本日、お集まりいただいた皆さんや、連合長野の全体でいただいた表彰であると受け止め、あらためて感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス禍で当たり前の労働運動ができない状況、対人のコミュニケーションが許されない状況に陥っています。その中、私たちの労働組合の意義、存在価値が如何に重要か、信頼感、緊張感ある労使関係が如何に必要なということがあらためて浮き彫りになってきています。そうしたなかで私たち自身の運動の在り方を今後、皆さんと作り上げていくことを確認し合いたいと思います。

連合長野は 2 月 28 日に結成 30 年を迎えました。30 年前、先輩の皆さんが全的統一に至った意義、動機はさまざまなのがあったと考えますが、大きく二つの側面があったと考えます。一点目は個別の労働運動、個別の労使交渉だけでは解決できない課題、すなわちオールジャパンの問題、県市町村の問題、そうした力の結集という意味の大同団結の側面があったのではないかと。税・社会保障、自然災害の対応、教育など政策制度に関わる比重が圧倒的に関わった側面があったのではないかと考えています。どちらかというと連合長野結成以前は、個別の春季生活闘争の成果が高度経済成長と相まって、総じて引き上げを果たしてきた時代から、それが許されない時代となってきています。国、県、市町村の政策も合わせていかないと働く者自身を守れなくなっている側面があったのではないのでしょうか。二点目は全ての働く者のためのナショナルセンターの実現です。以前は模造的な仕切りで豊かさを教授してきた時代だったが、今では格差貧困時代となってきています。私たちメンバーシップだけの取り組みではメンバーシップさえも守れなくなっている、そんな側面があったのではないかと考えています。新型コロナウイルス禍においては単組、産別、連合が役割分担して、意識をしっかりと持ちながら進めることが、私たちの命と健康を守ることに繋がることにあらためて浮彫り化してきています。この二つの側面には政治の場における処方箋が確立しないことには根本的な解決ができないと思います。大きなまとまりの群れで真っ正面から向き合い、働く者、生活者の声をしっかりと国に届けていくことが大切です。また地方自治体の政治課題があります。



台風災害、コロナを踏まえても私たちの暮らしの安定には、国のみならず県、市町村の政策、施策がいかに重要かということもあらためて認識をせざるを得ない状況になってきています。それがすべてはないと思いますが、直近の 3 つの市長選挙では現職がすべて落選する実態。そして、投票率がすべて向上している。そうした実感が一人一人に高まってきている実態が現れてきているのではないかと考えます。今こそ、連合長野、地域協議会連携してそうした政策に徹底的に向き合って 30 年前の先輩の思いを取り込み、新しい運動を作り上げていきたいと思っておりますので、今年一年、よろしくお願いいたします。

この定期大会で交代される多くの役員の連合長野に対する、ご苦勞、ご尽力に感謝を申し上げます。これからの運動は一筋縄ではいかなというの言うまでもありません。私たち自身がどうせなんとかかなる、誰かがやってくれるというのは許されない状況になってきております。働く皆さんの声をしっかり踏まえて、運動に取り込み、それぞれの役割意識を持ちながら前に進めていく、連合長野が先頭に立っていく決意を申し上げ、本日のお集りの皆さんと共に新しい運動を作り上げていくことをお願いしたいと思います。本日の定期総会を契機に高水地協の益々の発展とお集まりの皆さんのご健康とご活躍をご祈念申し上げ挨拶に代えさせていただきますと思います。ともに頑張りましょう。

2021 年度役員名簿

| 役 職 名 | 氏 名 | 地連 | 産 別／出 身 単 組 |
|-------|-------|----|----------------|
| 議 長 | 荻原 公和 | 須高 | 私鉄／長野電鉄 |
| 議長代行 | 大碓 純人 | 北信 | 自治／山ノ内町 |
| 副 議 長 | 田中 貴美 | 北信 | 自治／木島平村 |
| 副 議 長 | 青木 徳雄 | 北信 | 農団／ながの農協志賀高原 |
| 副 議 長 | 宮尾 卓志 | 須高 | 電機／鈴木 |
| 副 議 長 | 金箱 高広 | 須高 | 農団／ながの農協須高 |
| 事務局長 | 村山 辰之 | 北信 | 電機／富士電機 PSC 飯山 |
| 事務局次長 | 富澤 一明 | 須高 | 自治／須坂市 |
| 事務局次長 | 徳武 秀明 | — | 連合長野派遣（専従） |
| 幹 事 | 佐藤 宏臣 | 北信 | 自治／中野市 |
| 幹 事 | 江尻 丈 | 北信 | 自治／野沢温泉村 |
| 幹 事 | 岸田真理子 | 北信 | 自治／北信広域連合 |
| 幹 事 | 荻原 瑞紀 | 北信 | J P／日本郵政北信 |
| 幹 事 | 山田 英樹 | 北信 | 電機／新光電気高丘 |

| 役 職 名 | 氏 名 | 地連 | 産 別／出 身 単 組 |
|-------|-------|----|---------------|
| 幹 事 | 守屋 賢一 | 北信 | 電力／中部電力飯山 |
| 幹 事 | 斎藤 博樹 | 北信 | 農団／ながの農協みゆき |
| 幹 事 | 山田 明 | 北信 | U A／全コシナ |
| 幹 事 | 佐々木和幸 | 須高 | 自治／須坂市 |
| 幹 事 | 北村 幸範 | 須高 | 自治／須坂市社協 |
| 幹 事 | 湯本 美保 | 須高 | 自治／県立病院機構信州 |
| 幹 事 | 榎沢 寿之 | 須高 | 電機／ニッソー |
| 幹 事 | 吉田 明弘 | 須高 | 電機／鈴木 |
| 幹 事 | 鶴田 整 | 須高 | 農団／ながの農協須高 |
| 幹 事 | 小林 幹正 | 須高 | フード／明治産業 |
| 幹 事 | 中村 文成 | 須高 | 県教／上高井 |
| 会計監査 | 古畑 義隆 | 北信 | 林野／北信 |
| 会計監査 | 米沢 考司 | 須高 | 電機／日通エレクトロニクス |
| 会計監査 | 児玉 幹弥 | — | 労金／中野 |

【来賓各位】



篠原衆議院議員



杉尾参議院議員

次の方々が、期中および今期をもって退任しました。（敬称略）

- 事務局次長：和平幸三（連合長野派遣）■副議長：宮本多喜広（鈴木労組）、
- 幹事：村石保（須坂市職労）、松村勉（県教組上高井）、永井孝一（中部電力労組）、川上祐希（県立病院機構信州医療センター）、黒澤卓也（新光電気労組）、鈴木司（鈴木労組）、森文孝（明治産業労組）、阿部祥直（ながの農協須高）、土屋秀樹（全コシナ労組）、小沢一彦（長野電鉄労組）、嶋田明紀（野沢温泉村職労）■会計監査：小林祐一（全林野北信）の計 14 名

連合長野・フードバンク信州の取り組みについて

連合長野ではフードバンク信州と連携し、県内各地の生活不安を抱える子育て家庭などへ、暮らしをサポートする取り組みを継続的に行っています。

■冬季重点期間：2020 年 11 月 16 日(月)～2021 年 3 月 1 日(月)

■募集内容：米(2020 年度米、2021 年度米)、缶詰・瓶、レトルト食品、

インスタント食品(カップ麺・パスタ等)、調味料(油・醤油等)、飲料(缶ジュース等)

※右の写真は定期総会会場に加盟組織からお寄せいただいた、フードバンク食品です。

